



家族連れの方は、「ざっぱ汁は、鱈のうまみがいっぱいいて、とても美味しいです。野菜にも味が染み込んでいて、ふだん野菜を嫌がる子どもが、『美味しい』と言って野菜も食べています。」と感想を話してくれました。

2月5日(日)、水産関係の店が並ぶ南町・本浜町・十日町の町道沿い商店街で、「寒鱈まつり」が開催されました。

歩行者天国とした「ふれあい通り」では、真ダラを丸ごと使った豪快な「ざっぱ汁」に人気が集まり、旬の味覚を楽しむ姿が多く見られました。

この祭りは、地域商店街の皆さんが実行委員会を立ち上げ開催したもので、平成16年10月から同じ会場で「お魚通り大漁市」を開催しています。

実行委員の方は「予想以上の人出でした。寒い季節は客足が減りますが、商店街が結束してイベントを開催してお客さんと呼び、地元の良い品を提供することで、地域の活性化につながると考えます。これを定着させたいですね。」と話していました。



「ざっぱ汁」コーナーはいつも行列



## 鬼は一そと! 福は一うち!

2月5日(日)、志津川上の山の海円寺で、節分の厄払い祈願と豆まきが行われました。

始めに杉枝で作られたかがり火がたかれ、山伏姿の住職がほら貝や太鼓を鳴らし、厄年など寄せられた氏名を読みあげ、無病息災などの祈願が行われました。

そのあと、はかま姿のみなさんが、威勢の良い掛け声で、「鬼は外、福は内」と縁起物の福豆と紅白の餅がまかれました。集まった皆さんは、両手一杯に拾い集めていました。

## 機能性と機動力の高い 消防ポンプ車を配備

南三陸消防署に新しい消防ポンプ車が配備されました。この車両は、雪道や悪路にでも走行できる四輪駆動で、毎分2千リットル以上の放水が可能なポンプを搭載する高機能の災害対応型です。消防士が呼吸器をワンタッチで装着できる器具、ステンレス製のはしご、ワイヤレス広報機、投光器なども装備しています。

また、この車両は、排出ガスを抑えた環境に優しい車両です。



災害対応型の消防ポンプ車